

## index

特集

### ●療養病棟のご紹介

### ●病院薬剤師の仕事

#### トピックス

- 医事課からのお知らせ
- 「江南市認知症徘徊者捜索訓練」を行いました!

#### おシゴト紹介

- 細胞検査士

#### イベント紹介

- 公開医療福祉講座「退院後の療養先について」
- クリスマスミニコンサート
- ゴスペルライブ
- 車椅子贈呈式

#### お知らせ

- 看護師・助産師募集
- 「看護の日」イベントのお知らせ
- 保険証の確認について
- 面会のご案内
- 編集後記
- 診療日カレンダー

## 病院理念

- 一. 私たちは「患者さん中心の医療」を実践します
- 一. 私たちは患者さんの安心と信頼を得るよう努力します
- 一. 私たちは医療人としての誇りと自信を持って行動します



# 療養病棟のご紹介

療養病棟は、急性期の診療を終えて症状は安定しているが長期にわたり療養を必要とする患者さんが入院する病棟です。

当院は、尾張北部医療圏北部地域の大規模病院として急性期、高度専門医療を担っており、一般病棟に入院された患者さんは、症状が落ち着き、主治医が当院における入院治療の役割を終えると判断した時点で、入院前の生活の場へ退院いただいております。ただし、退院に向けての準備に時間を要する場合（例えば、自宅の改築や次の転院先の待期など）は、一般病棟への急性期患者の受け入れのために、「療養病棟」へ転棟していただき、経過観察をしながら、在宅、又は次の受け入れ先までの準備を行います。この間病状の急変があれば、主治医の判断で一般病棟への再転棟もあり得ます。

療養病棟では、家族構成、住環境、家庭背景なども視野に入れながら、社会福祉士と共に円滑に患者さんの在宅復帰又は施設入院や転院に向け支援します。なお、当院では他の医療機関から療養病棟への受け入れは行っていません。

## <病棟スタッフ>

療養病棟では、医師、看護師、社会福祉士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、薬剤師、管理栄養士等が連携し、退院の支援だけでなく、症状の安定を保ちながら療養生活を少しでも楽しく過ごしていただけるように援助しています。

## <療養病棟での生活>

### 食事

原則として食事は食堂で、ただし胃瘻の患者さんはベッド上でとっていただきます。

### 排泄 体位変換

病棟では2時間おきに排泄の有無を確認しています。同時に自分で寝返りができない患者さんは、褥瘡予防のため体位変換を行います。

### 入浴

原則として週2回を予定しています。

体調が悪く入浴できない方にはタオルでの体拭きを行います。

### レクリエーション

季節の行事やレクリエーション、リハビリ、音楽療法などを行っています。

### 面会

療養病棟では面会状況を把握するため、受付コーナーに面会カードを設置し、記入していただき備え付けの「面会名簿入れの箱」に入れていただきます。

平成23年4月より12月までに療養病棟へ転入された患者さんは251名で、月平均28名です。平均在院日数は一般病棟で57日、療養病棟で53日、合計110日となっています。転帰先は、一般病院25名、回復期リハビリテーション病院5名、医療療養病院20名、有床診療所20名、介護老人保健施設33名、特別養護老人ホーム7名、有料老人ホーム10名、グループホーム2名、在宅39名です。



療養病棟部長  
田原 裕文

# 病院薬剤師の仕事

今回は、病院での薬剤師の主な仕事について簡単に説明させていただきます。

薬剤師というと、ただ医師からの処方箋にもとづいてお薬をつくる人というイメージがあるかもしれませんが、そのほかにも、いろいろな業務を行っています。

## ●調剤

処方箋の内容について、量・飲み方、飲み合わせなどのチェックを行い、外来、入院の薬を調剤しています。

## ●注射調剤

入院患者さんの注射薬を、処方箋の内容について投与量・速度などを確認し、個人別にセットしています。また、抗がん剤については薬剤師が混合調製しています。

## ●製剤

市販の薬品がないものを調製しています。

## ●医薬品の管理供給

病院内の医薬品購入、在庫管理、各部署への供給などを行っています。

## ●医薬品情報の管理

医薬品の効果や副作用の情報を収集、管理しています。  
薬の最新情報を医療現場に提供しています。

## ●治験薬管理

新しい薬が安全に有効に使われるように、その支援を行っています。

## ●病棟での業務

病棟で医師や看護師などと連携をとりながら、副作用などのチェックをしたり、患者さんに薬の情報を提供しています。



主任薬剤師  
後藤 元彰

## 「江南市認知症徘徊者<sup>あい</sup>搜索訓練」を行いました！

平成24年2月17日に江南市認知症<sup>あい</sup>支援♥ネットワークの活動のひとつである、認知症徘徊者の搜索訓練を行いました。布袋から松竹町まで、27名の方が徘徊役の方に声をかけてくださいました。

認知症の方の介護の中で、徘徊は対応に苦慮する症状の一つです。徒歩で名古屋まで行ってしまう方もみえます。そういった認知症の方を早く保護するには、地域で見守り、声を掛けることが大きな力になります。そのためには認知症はどんな病気なのか、どう声をかけると良いかを知ることが必要です。

江南市では認知症の勉強をする「認知症サポーター養成講座」を開催しています。市内で毎年約100人程度の方が発症している認知症を、身近な病気ととらえ“大丈夫、みんなで支える認知症”（江南市の認知症の取り組みのスローガンです）を実践していきましょう。



認知症の相談・認知症サポーター養成講座へのお問い合わせ

江南中部地域包括支援センター（外来2階）まで。

病院では様々な資格を持った多くのスタッフが、互いの専門性を生かしながら協力し合って働いています。その中で今回は細胞検査士のおシゴトを紹介します。

「細胞を見て」「診断する」検査を細胞診検査といいます。ヒトのからだは、およそ60兆個の細胞からできています。患者さんから採取した細胞を薄いガラス板に塗り広げ、色をつけて顕微鏡で見ると、正常な細胞の中に、それとは違う形や色をした細胞が混じってくることもあり、その中に癌(がん)細胞がある可能性があります。

このようにして癌細胞の可能性のある細胞を見つける仕事をしているのが細胞検査士です。

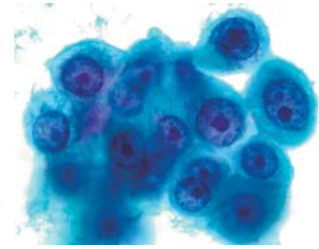


細胞検査士一同

わたしたち細胞検査士は、サイトテクノロジスト(CT)とも呼ばれており、臨床検査技術科の病理検査室で働いています。早期発見を目的とした子宮癌や肺癌のがん検診の判定だけではなく、乳腺や甲状腺など毎日さまざまな細胞を見て、癌を疑う細胞をチェックしています。

みなさんとお会いする機会はほとんどありませんが、これからも迅速かつ正確な検査結果を報告するよう努力します。

臨床検査技術科 技師長補佐 住吉 尚之



肺癌の細胞像

## 公開医療福祉講座

### 「退院後の療養先について」

12月6日(火)「退院後の療養先」というテーマでソーシャルワーカーよりお話をいただきました。関心が高いテーマとあって、参加者の多くが熱心にメモを取って見えました。また、盛んに質問が寄せられました。



12月6日

## クリスマスミニコンサート

12月13日(火)子ども医療センターで水野寿子(ソプラノ歌手)さん、熊谷幸祐(ピアニスト)さんによるコンサートが行われました。クリスマスソングを中心に披露いただき、子ども達も一緒に楽しんでいました。



12月13日

## 車椅子贈呈式

2月13日(月)社団法人愛知県宅地建物取引業協会北尾張支部より車椅子5台を寄贈いただきました。車椅子の台数が不足していたので、大切に使用させていただきます。



2月13日

## Event イベント紹介

### ゴスペルライブ

12月14日(水)江南短大オープンカレッジ「The Clear Frow」のメンバーによるコンサートが行われました。クリスマスソングを中心に、素敵なハーモニーを披露していただき、皆さん楽しい時間を過ごしてみえました。



12月14日

## 医事課からのお知らせ

### 診療報酬改定について

平成24年4月1日より『診療報酬の改定』に伴い、窓口負担が変わる場合がありますのでご承知おきください。

『診療報酬』とは、医療機関の医師、看護師、栄養士やリハビリの療法士が患者さんに対して行う、保険診療の医療行為の対価として計算される報酬であり、数千項目にわたる医療行為について点数が1点10円で決められています。原則として、2年ごとに診療報酬の見直しが行われます。

### 高額な外来診療を受ける皆さまへ

平成24年4月1日より、高額な外来診療を受けたとき、限度額適用認定証等や被保険者証等を提示すれば、ひと月の医療機関等の窓口での支払いが一定の金額にとどめられます。

(※ただし、同一医療機関での同一月の窓口負担に限りますので、同月内に複数の医療機関を受診された場合は、それぞれの医療機関ごとに外来の高額療養費を算定することになります。なお、同一医療機関に併設された医科及び歯科についても別々に高額療養費を算定することになります。)

70歳未満の方と、70歳以上の非課税世帯等の方は、加入する医療保険者に事前に申請し、限度額適用認定証等の交付を受ける必要がありますので、詳しくはご加入の医療保険者にご相談ください。

また、平成24年3月31日以前に交付された限度額適用認定証または限度額適用・標準負担額減額認定証についても、記載されている有効期限までは使用することが可能です。

### 平成24年4月1日より入院費の算定方法が変わります

当院は、厚生労働省の指定を受け「DPC対象病院」となります。これにより、平成24年4月1日以降に入院される患者さんへの入院医療費の計算方法が、従来の「出来高方式」から「包括評価(DPC)方式」へ変更になります。外来診療においては、従来の「出来高方式」のまま医療費を計算します。

DPCとは現行の医療行為ごとに医療費を計算する「出来高方式」とは異なり、患者さんの傷病名等により、1日当たりの定額医療費を基本として、入院医療費を計算する方式です。

#### 従来の計算方法(出来高方式)

薬・検査などの診療内容を1つ1つ積み上げて計算する方法です。

- 入院基本料
- 薬(投薬・注射)
- 処置料
- 検査料
- 画像診断料
- 手術・麻酔料
- リハビリ

#### DPC方式

1日当たりの包括金額が設定されています。この金額の中には、薬・検査など多くの診療費用が含まれています。

包括部分

出来高部分

入院基本料  
薬(投薬・注射料)  
処置料  
検査料  
画像診断料など

手術・麻酔料

リハビリ

※不明な点がございましたら医事課職員までお尋ねください。

# 看護師・助産師募集

平成25年4月採用の看護職員を募集します。

〈看護部病院説明会開催予定〉

4月 7日(土) 5月19日(土)	9:30~12:00(開場9:00) 江南厚生病院2階講堂にて 病院概要・看護部理念・教育体制・給与休暇等の説明、先輩との意見交換、施設見学参加をご希望の方は1週間前までにお申し込みください。 詳しくは江南厚生病院ホームページをご覧ください。 ※選考会は7月27日(金)・8月17日(金)に行います。 お問い合わせは 看護管理室 まで TEL 0587-51-3332
6月16日(土) 7月20日(金)	
8月 4日(土) 8月31日(金)	

## 「看護の日」イベントのお知らせ

毎年**5月12日**は**看護の日** 気軽に看護にふれていただけるようたくさんのイベントを開催します。

### テーマ「災害に備えて今、私達にできること」

もし今、災害に巻き込まれたら、自分で自分の身は守れるでしょうか。

普段から食事制限がある・・・毎日飲んでいる薬がある・・・など、いざという時に備えて、

日頃からできることがあるかもしれません。

専門職種からの講演も参考に、考えてみませんか。

当日は、身体計測なども行っています。

参加は無料です。  
どなたでもお気軽に  
お越しください。



**日時** 2012年5月10日(木)・11日(金) 10:00~15:00

**会場** 江南厚生病院 2階(エレベーターホール奥)講堂  
(患者図書室近く) 多目的室

#### ●保険証の確認について

当院では毎月一度保険証の確認を行っています。外来受診の際は各外来受付か新患受付へ、入院中の方はスタッフステーションに保険証をご提示ください。なお、氏名、住所、電話番号等の変更があった場合もご提示をお願いいたします。

#### ●面会のご案内

平日	15:00~20:00
土・日曜日・祝日	13:00~20:00

※4人床の面会は、同室の患者さんの迷惑にならないように談話コーナーなどをご利用ください。

※患者さんの安静は治療上大切です。容体によっては面会をお断りする場合があります。

#### 編集後記

●4月になりだんだんと暖かくなってきたので、休日などは屋外へ出て春を探したいものです。年度も明け、進学、進級、就職等、これから新しい取り組みを始める人も多いのではないのでしょうか。皆様のご発展をお祈りいたします。

## 2012年 診療日カレンダー

■ 休診日(第2・4・5土曜日は休診です)

● 午後休診

4月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

5月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

6月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	8	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	26	26	27	28	29	30

●発行日/平成24年4月1日

●発行/JA愛知厚生連 江南厚生病院 広報委員会

〒483-8704 愛知県江南市高屋町大松原137番地 TEL(0587)51-3333 FAX(0587)51-3300